

一口メモ

富山大附属病院で実施しているダ・ウィンチ手術は、すべて健康保険が適用される。例えば、前立腺がんに対するダ・ウィンチ手術で10日間入院した場合、自己負担額は約48万円となる(自己負担3割の場合)。高額療養費制度を利用すると、70歳未満では9万5000円～27万円、70歳以上では5万8000円～27万円となる(所得に応じて異なる)。

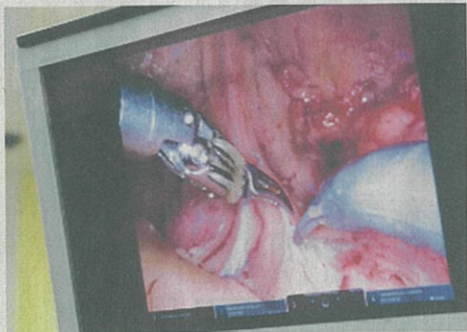
知りたい! 治療の最前線

◇34

ロボット手術

内視鏡下手術用ロボット「ダ・ウィンチ」を用いた手術は従来の腹腔鏡手術に比べ、治療効果が高いうえ、身体的負担が軽いことから術数が伸びています。手術の方法やメリット、保険適用などについて解説します。

安全で身体的負担軽減



ダ・ウィンチを使った手術の様子。鮮明な画像を見ながら鉗子を操る＝富山大附属病院



コントローラーを動かし、鉗子を遠隔操作する



北村 寛
富山大附属病院
泌尿器科教授

保険適用範囲広がる

ダ・ウィンチは、4本のロボットアームと3Dモニターを備えています。手術では患者さんの体に小さな穴を開け、アームの先端に取り付けた鉗子と内視鏡を体内に挿入します。医師はモニターの立体的な画像を見ながら、コントローラーで鉗子を遠隔操作

動きが可能です。このため、体内の狭い空間でも自由に器具を動かすことができます。患者さんにとっての利点は、切開部が小さいため、傷跡がほとんど残らないことです。これらの手術で全体の80%以上を占めています。2018年、膀胱がんの膀胱全摘除術にも保険適用となりました。

手術では術後合併症が減少し、早期に食事再開できることが証明されています。**9割超が泌尿器科**が国では、ダ・ウィンチ手術の90%以上が泌尿器科で行われています。中でも前立腺がんに対する前立腺全摘除術と、腎臓がんへの部分切除術で選択されることが多く、これらの手術で全体の80%以上を占めています。

します。鉗子は折り鶴が作れるくらい、精密に動きます。またアームには多数の関節があるため、人間の手首以上の複雑な動きが可能です。このため、体内の狭い空間でも自由に器具を動かすことができます。患者さんにとっての利点は、切開部が小さいため、傷跡がほとんど残らないことです。これらの手術で全体の80%以上を占めています。2018年、膀胱がんの膀胱全摘除術にも保険適用となりました。

当院での治療実績を紹介いたします。腎がん手術の場合、患者さんの86%で▽切り口に腫瘍が残っていない▽腎機能を保持している▽合併症がないの3つの目標を達成しており、現在のところ再発した症例はありません。

今年8月にはダ・ウィンチ専用の手術室を増設し、より多くの患者さんが手術を受けられるようになります。最新技術の習得に努め、QOL(クオリティー・オブ・ライフ)生活の質)の向上に貢献したいと考えています。

QOL向上へ